

—平成20年度臨時総会— 平成21年度事業・予算を決定

平成20年度の臨時総会が、去った3月30日(月)に沖縄産業支援センターにおいて開催された。出席会員数34名(本人出席29名、委任状出席5名)

存在感のある商工会連合会の実現とリノベーションを先導する商工会連合会の確立を基本理念とした事業計画と関係予算等が承認された。



第1号議案

沖縄県商工会連合会人事管理委員会規約の一部改正(案)の承認について

第2号議案

沖縄県商工会連合会退職金共済規約の一部改正(案)の承認について

第3号議案

平成20年度一般会計収支補正予算書(案)の承認について

第4号議案

平成21年度事業計画書(案)及び一般会計収支予算書(案)の承認について

第5号議案

平成21年度商工貯蓄共済事業計画書(案)及び特別会計予想損益計算書(案)の承認について

第6号議案

平成21年度特別会計収支予算書(案)の承認について



平成二十一年度事業計画策定及び基本理念設定の背景

わが国経済は、昨年前半の原油・材料高に加え、後半には米国の金融危機を発端とした世界経済の混乱等から景気の悪化が著しくなっている。

一方、全国的な景気悪化の影響等から、今後、本県中小・小規模企業を取り巻く環境は一層厳しくなるものと予想される。

景気後退が進行する中で、この経済危機に直面する中小・小規模企業への支援強化を如何に図っていくか、更に商工会の支援機能強化に向けた組織・事業改革の徹底を共有し如何に推進していくか、衰退する地域コミュニティ活動をどう維持していくかといった課題への対応を迫られている。

そこで、会員企業、商工会及び本会を取り巻く内外の課題を踏まえ、本会のあるべき姿を下記の通り基本理念として定め、基本理念の下に平成二十一年度事業計画(重点事業及び事項別事業計画及び事業推進に係る数値目標)を策定する。

一、存在感のある商工会連合会の実現

本会は、商工業の改善発達を図り、社会一般の福祉の増進に資する商工会を支援すること、**「会員・企業の信頼」と、「地域住民の支持」**を得、併せて、永続的に安定した財政基盤の確立で**「存在感のある連合会」**を目指す。

二、リノベーション(刷新・革新)を先導する商工会連合会の確立

本会は、商工会を代表する連合体として、

商工会の支援機能が最大限に発揮できる体制構築のため、「リノベーション(刷新・革新)を先導する連合会」の確立を目指す。重点事業

一、経済危機に直面する中小・小規模企業への支援強化

(1) 中小・小規模企業に対する経営支援の強化

(2) 農商工連携の推進

(3) 地域資源を活用する中小企業の支援

(4) 地域力連携拠点事業の着実な推進と支援体制の拡充

二、商工会の支援機能強化に向けた組織・事業改革の徹底

(1) 組織・事業の強化

○ 会員加入運動の推進

○ 巡回指導の推進・強化

○ パイオニア(広域担当経営指導員)制度(仮称)の導入検討

○ 事業実施マニュアル策定による効果的な組織運営

(2) 役・職員の更なる資質向上対策

(3) 会員サービス向上のための各種事業の推進

三、商工会の地域産業・コミュニティへのさらなる貢献への支援強化

(1) 商工会地域貢献アピールプランの策定と活用支援

(2) 「まちづくり」の総合的な支援

(3) 地域産業創出等の積極的な支援

(4) 地域活性化対策の推進